

## 岡山醫學會彙報

### 岡山醫學會通常會

同會は本月十七日午後三時十分より岡山醫科大學附屬醫院南臨牀講義室に於て開會す生沼主幹開會を述べ直ちに左の講演に移る。

#### 第一席 免疫凝集素と其の分離凝集素との比較研究

衛生學教室 須之内權三君

免疫凝集素が凝集反應を起し得る食鹽の最少量は0.06%なり然るに10.0%の蔗糖液中にてN/100「ナトロノラウゲ」の作用の下に分離したる凝集素及び蒸留水を用ひて分離したる凝集素は食鹽量0.007%にて尙ほ凝集反應を起し得るなり、即ち分離凝集素は免疫凝集素に比し約10分の1の食鹽量にて凝集反應を起し得るなり又分離したる凝集素の特異性は絶對的なり即ち「バラA」に對し類屬反應を有する腸「チアス」血清より腸「チアス」菌を以て分離したる分離凝集素は「バラA」に對し凝集反應を呈せず又同血清より「バラA」菌を以て分離したる分離凝集素は「チアス」菌に對して凝集反應を呈せず免疫凝集素及び分離凝集素は熱に對する抵抗に於て大差なし、酸及び「アルカリ」に對しては分離凝集素の方が免疫凝集素に比し少しく弱し、免疫血清は分離凝集素を含む液に比し毒性強し之は血清中の蛋白によるならん。(自抄)

#### 第二席 水素「イオン」濃度と膽汁酸の腓「リパーゼ」の脂肪分解作用に及ばず影響竝に膽汁酸の化學的構造とその分解作用との關係に就きて

醫化學教室 正田政人君

演者は牛の腓蔵に於て精製せる Lipase を以て種々の水素「イオン」濃度及び種々の量の Cholsäure, Desoxycholsäure, Gallodesoxycholsäure 及び Hyodesoxycholsäure の存在のもとに脂肪分解作用に就きて比較實驗し次の結論に到達したり。

- 1) Lipase による脂肪分解促進作用の至適 PH は 8.04 なり。
- 2) 膽汁酸の Zweite Ring の 7 Hellung にある OH Gr. は脂肪分解促進作用に絶對的に必要の物である。
- 3) Zweite Ring の 7 Hellung にあるの OH Gr. の有無によりてその種類を異にせる膽汁酸は各のその脂肪分解促進作用を異にせり。(自抄)

右終りて午後四時二十分閉會す。

●岡山醫學會通常會 同會通常會は例年の通り七、八の兩月は暑中に付休會す。